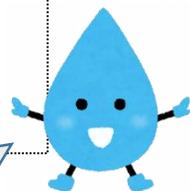




○稲体をより丈夫にする 「中干し」を忘れずに。

<中干しの効果>

- ①倒伏防止→倒伏による収量・品質低下の防止に繋がる！
- ②中干しする時期が遅くなると登熟が悪くなりやすく、収量や品質に影響がやすい→遅れないようにしましょう。
- ③中干し以降圃場内で使用する機械を扱いやすくする。
(コンバイン等が圃場にはまらないようにする)



<中干しのやり方・目安>

田植後40～50日程度を目安に強め（田面に歩くと少し足型が付くくらい）に行うのがベスト！

田面のヒビの幅は1cmくらいまで。それ以上は干しすぎです。

<中干しが難しい場合・・・>

棚田や中干しが難しい圃場は支障がない程度に軽く行い、中干期間をやや延長してください。

・遅れて発芽した雑草には中後期除草剤を！

初中期剤の効果が切れて、遅れて発芽する雑草（特に塊茎で増える植物）には中後期の除草剤を散布しましょう。

※散布方法は先月号を参考にしてください。

除草剤使用の際は、ラベルに記載されている使用回数に気をつけて散布してください。

